

## 本調査研究の概要

- 全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、全ての教育委員会や学校において、調査結果の活用を通じた教育施策や児童生徒一人一人への教育指導の恒常的な改善・充実に資することを目的として実施している。
- この目的を達成するためには、大学等の研究機関等の専門的な知見を活用して、全国学力・学習状況調査で得られたデータ（教科調査の解答データ、質問紙調査の回答データ、等）について高度な分析を追加で行うことが重要。
- このため、文部科学省においては、平成21年度以降、委託事業「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」を毎年度実施し、成果報告書を公表している。

### <過年度の調査研究（例）>

- ・効果的な指導方法や取組について
- ・教育委員会や学校における調査結果の分析・活用手法について
- ・児童生徒の社会経済的背景（SES）と学力の関係について

## <令和4年度の調査研究>

令和3年度調査（悉皆調査、経年変化分析調査、保護者に対する調査）で得られたデータについて以下の追加分析を実施。

### A. 保護者に対する調査の結果を活用した専門的な分析

- ・家庭の社会経済的背景（SES）と学力との関係に関する調査研究（受託者：福岡教育大学）
- ・効果的な学校等の取組やコロナ禍における児童生徒の学習環境に関する調査研究（受託者：お茶の水女子大学）

### B. 経年変化分析調査及び本体調査の結果を活用した学力の経年変化に関する専門的な分析

- ・経年変化分析調査を活用した、平成28年度と令和3年度の学力の経年変化に関する比較・分析（受託者：東北大学）